

■令和元年度 事業の総括

この度の、新型コロナウイルス感染拡大により、会員の皆様におかれましては、大変な苦勞をされ、また不安な日常を送られていることかと思ひます。心より、お見舞い申し上げます。

さて、昨年度、当法人におきましては、設立より10年の節目を経て、あらためて中期計画を策定し、法人の基盤となる事務局機能の強化の為、様々なセミナーや研修に参加した他、専任の事務職員を雇用し、労務や会計関係の整備を行って参りました。

昨年度の事業については、「飯坂茂庭活性化プロジェクト」として、地域資源を活用した観光プログラムであるカヤック等アクティビティの充実化をはかり、新たなスタッフ雇用と常勤理事の研修により、体制強化を行いつつ、飯坂温泉街への集客の為、様々な広報活動を行いました。

実施体制の強化については、福島市と協働し、総務省が地方創生策の一つとして、主に都市住民の地方移住を促す「地域おこし協力隊」制度を活用し、飯坂町への若者移住・定住をはかるため、市が募集する地域おこし協力隊員の受入団体となって、飯坂町の発展に寄与する人材の募集と育成に努めてまいります。

また、同プロジェクトでは、マラソン大会運営をはじめ、町内で開催するイベント開催に協力し、集客や円滑な運営に寄与してまいりました。

加えて、子どもの外遊び支援事業(冒険あそび場)では、県内の野外活動団体等との連携により、飯坂町を中心に実施する他、福島県内において外遊びの重要性を周知してまいりました。

さらに、オンカフェ事業においては、旧堀切邸や鯖湖湯が位置する飯坂温泉街の中心部で、地域の観光交流拠点として賑わい、飯坂町の特産品を活用したメニュー作りや販売に取り組み、特に桃を使用したメニューは、全国放送番組にも取り上げられ、飯坂温泉のPRに大きな成果となりました。

一方で、平成28年度より取り組んでまいりました避難住民への支援活動は、東日本大震災ならびに原発事故より9年が経過し、当法人設立の目的である観光とまちづくり事業に集中して行うため、今年3月をもって終了いたしました。

最後になりますが、様々な事業や活動にご支援ご協力をいただきました会員の皆様へ、あらためて御礼を申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染の影響による新たな日常の下で飯坂町が発展していけるよう、当法人が地域の為にできることを、理事一同で考えてまいります。つきましては、会員の皆様におかれましても、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
いいざかサポーターズクラブ
理事長 佐藤 耕平

■令和元年度 組織運営に関して

□会員に関する事項

(1) 会 員 数	* 正会員 35 名	* 準会員 8 名
(2) 会員へのサービス	① イベント等の案内（郵送）	
	② 会員交流会 未実施	
	③ 会報誌発行 未実施	

□運営に関する事項

1. 総会

日 時	令和 元 年 5 月 29 日 18:00~19:30
場 所	飯坂ホテル聚楽（福島市飯坂町西滝ノ町27番地）
出 席	正会員：28名（内、委任状16名）

2. 理事会

日 時	平成 31 年 4 月 24 日 9:30~12:00
場 所	いいざかサポーターズクラブ事務局（福島市飯坂町字湯沢26番地）
出 席	理事： 5 名
議 題	①令和元年度事業計画について ②令和元年度総会について ③職員の募集について
日 時	令和 元 年 6 月 24 日 10:00~12:00
場 所	いいざかサポーターズクラブ事務局（福島市飯坂町字湯沢26番地）
出 席	理事： 5 名
議 題	①職員の雇用について ②会費の徴収について ③ぷらっとふお一む飯坂の管理委託について ④7月以降の活動予定について ⑤福島市による旧茂庭小学校の利活用案聞き取り調査について
日 時	令和 元 年 9 月 5 日 9:30~12:00
場 所	いいざかサポーターズクラブ事務局（福島市飯坂町字湯沢26番地）
出 席	理事： 4 名
議 題	①各事業の進捗について ②ふくしま未来基金におけるインストラクターの募集状況について ③湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソンの参加募集状況と運営について ④役員報酬について ⑤労務管理と関係書類の整備について ⑥法人税の申告について
日 時	令和 元 年 11 月 21 日 9:30~12:00
場 所	いいざかサポーターズクラブ事務局（福島市飯坂町字湯沢26番地）
出 席	理事： 5 名
議 題	①法人税の申告について ②ふくしま未来基金のインストラクター募集状況について ③湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソンの収支状況と来年以降の運営について ④労務管理と関係書類の整備、職員の手当支給について

3. 組織基盤の整備

(1) 広報活動

① 展示会・イベント等への参加・出店

名称	イオン黄色いレシートキャンペーン		
主催	イオン福島店		
実施日	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日		
場所	福島市	会場	イオン福島店
内容	イオン福島店 1 階食料品売場レジの後方に、買い物客がレシートを投函する専用ボックスを設置し、投函されたレシート総額の 1% が当法人への寄付となるキャンペーンへ参加		
名称	モンベル フレンドフェア 2019 春		
主催	株式会社モンベル		
実施日	平成 31 年 4 月 29 日	参加役員	1 名
場所	神奈川県横浜市	会場	パシフィコ横浜
内容	アウトドア用品メーカーの製品展示会に出展した「フレンドエリア吾妻・安達太良・霊山・松川浦」ブースにて、当法人の活動や飯坂温泉の PR を行った		
名称	第 13 回 茂庭っ湖まつり		
主催	茂庭っ湖まつり実行委員会		
実施日	令和 元年 7 月 28 日	参加職員	2 名
場所	福島市	会場	摺上川ダム管理所駐車場、他
内容	イベント開催時のフードコーナーへ、オンカフェならびに会員が出店・販売		
名称	市民と共に創るおもてなし案内所魅力向上プロジェクト		
主催	一般社団法人 福島市観光コンベンション協会		
実施日	令和 元年 9 月 13 日 ~ 29 日	参加役員	1 名
場所	福島市	会場	JR 福島駅西口観光案内所
内容	西口観光案内所内へカヤック本体を展示し、同時に PR 動画上映を行い、案内所の賑やかさとカヤック事業の PR を行った。		
名称	福島県旅行商談会		
主催	公益財団法人 福島県観光物産交流協会		
実施日	令和 2 年 2 月 27 日	参加役員	1 名
場所	東京都	会場	Meeting Space AP 日本橋
内容	首都圏の旅行代理店へ、カヤックツアーをはじめ飯坂温泉の観光 PR を行った。		

② メディアへの掲載

日時	内容	掲載先等
平成 31 年 4 月 11 日	げっきんチェック (カヤック紹介)	TUF テレビュウ福島
平成 31 年 4 月 29 日	第 4 回 茂庭っ湖 ライフタイムトライアルについて	福島民報社
令和 元年 5 月 6 日	N スター (カヤック体験会紹介)	TUF テレビュウ福島
令和 元年 6 月 5 日	第 10 回 総会の開催について	福島民報社、福島民友新聞社
令和 元年 7 月 ~ 令和 2 年 3 月	カヤックツアー他観光アクティビティについてホームページに掲載	ぐるっと福島 WEB 版、フリーペーパー版

令和元年7月号	カヤックツアーについて	CJふくしま
令和元年7月号	カヤックツアーについて	行偏天下(台湾)
令和元年7月号	カヤックツアーについて (有償広告掲載)	河北新報社 (河北夏のおでかけガイド2019)
令和元年7月23日	ハーバリウム体験会について	福島民報社、福島民友新聞社
令和元年8月31日	オンカフェで福島産桃を使用したメニュー	日本テレビ「満点☆青空レストラン」
令和元年9月26日	カヤックツアーについて	岳温泉観光協会ホームページへ記事掲載
令和元年10月5日	カヤックツアーについて (402社のメディアへ有償記事投込み)	旅行新聞新社、ジョルダン(株)、他 WEBメディアに掲載
令和2年1月発行	カヤックツアーについて	ジャパンエコトラック福島県
令和2年2月5日	地域おこし協力隊募集について	福島経済新聞

③インターネットでの情報発信(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

ホームページ閲覧者数	31,576名(平成30年度 24,506名)
フェイスブック閲覧者数	353,403名(平成30年度 192,977名)

(2) 研修やセミナーへの参加

日 時	内 容	主催団体等	参加者
令和元年5月16日	NPO組織基盤強化のための ワークショップ	パナソニック株式会社 日本NPOセンター ふくしまNPOネットワークセンター	金澤次郎
令和元年5月17日	基本の労務管理セミナー	(一社)ふくしま未来研究会 (公財)パブリックリソース財団	金澤次郎
令和元年5月30日 ～6月1日	アメリカン・エクスプレス・ リーダーシップ・アカデミー 2019～NPOリーダー育成 プログラム	(公社)日本フィランソロピー協会 アメリカン・エクスプレス財団	金澤次郎
令和元年7月7日	ハンモックワークショップ	ホールアース福島校	金澤次郎
令和元年7月18日 ～19日	タケダリーダーシップ研修	武田製薬工業(株) 日本NPOセンター	金澤次郎
令和元年7月31日	ふくしま未来フォーラム2019	(公財)パブリックリソース財団 (一社)ふくしま未来研究会	金澤次郎
令和元年9月5日 ～6日	市民活動支援組織次期リー ダー勉強会「えんがわ会議」	えんがわ事業開発会議 実行委員会	金澤次郎
令和元年9月18日	これからの福島の復興にむけ て	株式会社地域創造研究所	金澤次郎
令和元年9月27日	見て、聞いて、知る!福島の 企業っておもしろい!～テレ ビ局ってどんなところ?～	福島市市民サポートセンター	金澤次郎
令和元年9月27日	とうほく街道会議第15回交流 会万世大路・福島大会	とうほく街道会議 第15回交流会 万世大路・福島大会実行委員会	佐藤耕平 金澤次郎
令和元年10月5日	講演会「見て見ぬふりの悪」	福島市市民サポートセンター	金澤次郎

令和元年10月8日	群馬県みなかみ町のカヤック事業者へ視察研修	ふくしま未来基金助成事業	佐藤耕平 藤原純 金澤次郎 木戸康司
令和元年10月11日 ～13日	アドベンチャー教育ファシリテーター入門/ローエレメント編	(株)プロジェクトアドベンチャー ジャパン	金澤次郎
令和元年11月6日 ～7日	CORN安全管理ディレクター講習	子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	佐藤耕平 金澤次郎 只野勝久
令和元年11月11日	スポーツイベント主催者対象研修会	NPO法人スポーツルーターズ	金澤次郎
令和元年11月30日 12月1日	自然体験活動総括指導者演習 (NEAL コーディネーター)	全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会 那須甲子青少年自然の家	金澤次郎
令和元年12月10日	AELA 2019 東京フォローアップ	(公社)日本フィランソロピー協会 アメリカン・エクスプレス財団	金澤次郎
令和2年1月22日 2月2日 2月12日 2月19日 3月1日	コミュニティ塾 (E-learning版) スクーリング	大和証券フェニックスジャパン・ プログラム 日本NPOセンター CRファクトリー	金澤次郎
令和2年3月2日 ～3月3日	静岡県熱海市 NPO法人atamista 静岡県富士市 富士山まちづくり(株) 視察研修	東日本大震災現地NPO応援基金 大和証券フェニックスジャパン・ プログラム 2019助成事業	佐藤耕平 金澤次郎
令和2年3月5日	NPO経営ゼミセミナー基調講演	武田製薬工業(株) 日本NPOセンター ふくしまNPOネットワークセンター	金澤次郎

4. 職員及びボランティア

(1) 事業別人員体制

事業名	理事及び会員、職員	スタッフ・ボランティア
法人事務局	常勤理事2名 非常勤理事1名 職員1名 業務に応じて理事及び会員が応援	4名
冒険あそび場事業	常勤理事2名 業務に応じて理事及び会員が応援	20名
心も体も元気で過ごすための支援プロジェクト	常勤理事2名 業務に応じて理事及び会員が応援	5名
飯坂茂庭活性化プロジェクト	常勤理事2名 業務に応じて理事及び会員が応援	11名
オンカフェ事業	非常勤理事1名 職員1名 業務に応じて理事及び会員が応援	5名

(2) 労務関係の整備

名 称	労務相談
依頼先	社会保険労務士 中島真由美事務所、ふくしま地域活動サポートセンター
実施日	令和元年 12 月 26 日、令和2年 1 月 17 日、2 月 14 日、3 月 16 日
内 容	給与計算や雇用契約書、賃金台帳、労働者名簿などの整備について相談

(3) 福島市 地域おこし協力隊の受入

名 称	地域おこし協力隊
委託元	福島市 市民・文化スポーツ部 定住交流課
募集期間	令和 2 年 2 月 ~ 3 月 (令和2年4月現在、1名の応募者を採用試験中)
内 容	人口減少や高齢化が進む地方において、都市部の人材を積極的に受け入れ、その定住・定着を図ることで、地域力の向上を目指す取組である「地域おこし協力隊」として、福島市が採用する臨時職員の受入団体となる

■活動に関する事項

<非営利活動に係る事業>

1. まちづくりに関する、情報発信・収集・企画・運営・案内人（ガイド）による交流を促進させる事業

①冒険あそび場運営事業【受託事業】

趣旨目的	子どもが自由に責任を持って遊ぶことをモットーとした遊び場「プレイパーク」において、子ども自身が「やってみたい、楽しい」と感じる遊びのなかで心身の発育を促す機会をつくる			
内容	飯坂町内の公園や河川敷、県内の児童センターやイベント会場等で、木製手作りの遊び道具（プレイキット）を積載した車両（プレイカー）を用いて、遊び道具の提供と子どもの外遊びの安全管理と見守りを行った			
場所	会場	参加者数	開催回数	備考
飯坂町	乙和公園	370名	46回	
飯坂町茂庭	茂庭広瀬公園	435名	14回	
福島市野田町	野田児童センター	250名	2回	
郡山市	荒井中央公園	27名	4回	
西郷村	熊倉児童館、他1か所	372名	5回	
相馬市	川原町児童センター	257名	5回	
新地町	新地小学校	84名	2回	
二本松市	吉倉 佐藤家、安達公民館	17名	2回	
猪苗代町	森のようちえん「こめらっこ」、 磐梯青少年交流の家	81名	7回	
その他	イベントへ出張開催等	250名	4回	
会議等	子どもが自然と遊ぶ楽校ネット 総会、定例会		9回	
参加合計者数・回数		2,143名	100回	
収益	福島県子どもの冒険ひろば設置運営業務委託（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット）、その他委託料			

②心も体も元気で過ごすための支援プロジェクト【補助金交付事業】

趣旨目的	飯坂町を中心に避難者の方々が、 ①次のターニングポイントまでに身体共に元気であること ②地域と密接に関わりを持つこと ③現在の生活をより豊かに送れること を目的にサロン活動や外遊び活動を行う		
会場	参加人数	開催回数	内容
飯坂団地	690名	42回	週1回、集会所にてレクリエーション運動や脳トレ、街歩き、野菜作りを行う「健康サロン」の開催
桑折駅前団地	115名	20回	桑折駅前団地に避難している子ども達及び、周辺の地元の子供達へ外遊び「冒険遊び場」の開催
各会場	413名	22回	飯坂団地自治会バス旅行実施サポート 飯坂町民とのグランドゴルフ交流会実施サポート
合計	1,218名	84回	
収益	福島県県内避難者・帰還者 心の復興事業補助金		

③ぷらっとふお一む飯坂の運営【受託事業】

実施期間	平成 31年 4月 ~ 令和 2年 3月		利用者数	9名	
場 所	飯坂町	会 場	旧加藤別荘	開催回数	9回
内 容	福島市飯坂温泉のラヂウム玉子製造源泉にある加藤別荘を改装した交流拠点「ぷらっとふお一む飯坂」より、利用受付や施設の開錠・施錠、利用料の聴取を行った。				
収 益	会員登録料、施設使用料の半額が委託料				

2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業

飯坂茂庭活性化プロジェクト

(1) 自主事業

趣 旨 的	福島市飯坂町及び茂庭地区の自然や施設、文化を活用した事業（活動）を行うことにより、地域の交流人口の増加を図る				
活動名	茂庭っ湖カヤックツアー		参加者数	303名	
実施期間	平成 31年 4月 ~ 令和 元年 11月		開催回数	74回	
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム 梨平公園		
内 容	摺上川ダム（通称：茂庭っ湖）でのカヤックツアー開催、観光事業者や行政観光担当者を対象とした体験会の開催				
収 益	参加料、委託料、ふくしま未来基金				
活動名	第4回 茂庭っ湖ラインタイムトライアルレース		参加者数	99名	
実施日	平成 31年 4月 29日		開催回数	1回	
場 所	飯坂町茂庭	会 場	国道399号線（飯坂町茂庭 摺上川ダム周辺）		
内 容	摺上川ダム沿いの国道399号線にて往復11kmの自転車タイムレース開催				
収 益	参加料				
活動名	江戸時代建築の老舗旅館で上生菓子作り		参加者数	107名	
実施日	平成 31年 4月 7日、令和 元年 11月 4日（近畿日本ツーリストの行程内）		開催回数	4回	
	11月 24日、令和 2年 1月 13日				
場 所	飯坂町	会 場	なかむらや旅館、他	講 師	紅屋本店・一味庵・松屋清風庵
内 容	なかむら屋旅館や常泉寺を会場とし、市内の和菓子屋を講師に和菓子作り（ねりきり）体験				
収 益	参加料				
活動名	里山と水路を巡るサイクリング		参加者数	2名	
実施期間	令和 元年 8月 29日		開催回数	1回	
場 所	飯坂町	会 場	西根堰周辺		
内 容	飯坂町内の史跡や果樹園、西根堰をマウンテンバイクで巡るガイドツアー				
収 益	参加料				

(2) 助成金事業

活動名	体験アクティビティの拡充	新規雇用	1名
期間	令和元年6月1日～(令和2年5月31日)		
場所	飯坂町内		
内容	カヤック事業の発展を目指し、常時活動するインストラクター1名の雇用と養成、既存スタッフの研修		
収益	ふくしま未来基金 未来づくり助成		

(3) 受託事業

活動名	第13回 茂庭っ湖まつり		
実施日	令和元年7月28日	参加者数	約120名
場所	飯坂町茂庭	会場	摺上川ダム事務所、駐車場、梨平公園
内容	カヤック、スタンドアップパドルボード体験		
収益	国土交通省東北地方整備局 摺上川ダム管理所		
その他	実行委員会構成団体として参加	主催	茂庭っ湖まつり実行委員会

3. まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業

(1) 講師及び委員等の派遣

活動名	福島北高等学校 地域理解学習における講師		
実施日	平成31年4月22日	開催回数	1回
対応者	佐藤耕平	会場	福島北高等学校 体育館
内容	新入生へ飯坂町の概要について講演		
活動名	飯坂地域まちづくり計画推進懇談会		
実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	開催回数	5回
対応者	佐藤耕平	会場	飯坂支所 会議室
内容	福島市総合計画後期基本計画を基調とした飯坂まちづくり懇談会への参加		
活動名	飯坂温泉観光協会 理事会及び各委員会		
実施期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	開催回数	41回
対応者	佐藤耕平	会場	飯坂温泉観光協会事務所、吉川屋
内容	理事会、インターネット委員会、インバウンド委員会、等に参加し事業運営に協力		

(2) 旧茂庭小跡地利用に係るサウンディング型市場調査への参加(事業提案等)

活動名	旧茂庭小学校跡地利活用に係るサウンディング型市場調査		
実施期間	令和元年6月28日	場所	旧茂庭小学校(現地調査)
	令和元年7月25日		福島市役所9階ミーティングスペース(聞き取り調査)
内容	旧茂庭小学校跡地の利活用について、福島市定住交流課が行う提案募集に応募		

4. 地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り
地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業

(1) 飯坂茂庭活性化プロジェクト

①受託事業

活動名	花ももの里管理運営業務		参加者数	12712 名
期 間	平成 31 年 4 月 10 日 ~ 4 月 25 日			
場 所	飯坂町	会 場	花ももの里	
内 容	飯坂温泉の春の観光スポット「花ももの里」において、来場者への案内やパンフレットの配布、募金の徴収などを行った。			
収 益	委託料			
委託元	飯坂温泉観光協会			
活動名	摺上川ダム休日見学会支援		参加者数	42 名
実施日	令和 元年 12 月 15 日		開催回数	1 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム管理所	
内 容	摺上川ダム下流から監査廊へのウォーキングと見学会、茂庭っ湖スープカレーランチ販売を行いダム機能や水源地保全の周知をはかった			
収 益	摺上川ダム水源地域体験学習支援業務委託料			
委託元	摺上川ダム管理所			
活動名	摺上川ダム企画展支援		出展者数	22 名
実施日	令和 元年 11 月 1 日 ~ 令和 2 年 2 月 28 日		開催回数	2 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム管理所	
内 容	摺上川ダムの四季のフォトコンテストを開催し、ダム機能や水源地保全の周知をはかった			
収 益	摺上川ダム水源地域体験学習支援業務委託料			
委託元	摺上川ダム管理所			
活動名	摺上川ダム紹介パンフレットの制作			
実施日	令和 2 年 2 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日		制作部数	1000 部
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム管理所	
内 容	摺上川ダムのパンフレットを制作し、ダム機能や水源地保全の周知をはかった			
収 益	摺上川ダム水源地域体験学習支援業務委託料			
委託元	摺上川ダム管理所			

②実行委員会・協力事業

活動名	第12回 湯のまち飯坂・茂庭っ湖マラソン			
実施日	令和 元年 10 月 26 日 ~ 27 日		参加者数	968 名
場 所	飯坂町茂庭	会 場	茂庭広瀬公園	
内 容	飯坂町茂庭地区の国道及び市道をコースとしたマラソン大会を開催			
その他	当法人で事務局を担当		主 催	飯坂マラソン実行委員会

活動名	第13回茂庭っ湖まつり実行委員会、 第18回森づくり大作戦実行委員会(台風19号により中止)		
実施日	令和 元 年 6 月 ~ 10 月	開催日数	4 回
場 所	飯坂町茂庭	会 場	摺上川ダム事務所
内 容	・茂庭っ湖まつり準備会 ・森づくり大作戦準備会		
その他	実行委員会構成団体として参加	主催	各実行委員会
活動名	第33回 ほろ酔いウォーク2019		
実施日	令和 元 年 7 月 5 日 ・ 6 日	サポ-トスタッフ	9 名
場 所	飯坂町	会 場	飯坂温泉駅前広場
内 容	ほろ酔いウォークの受付及び抽選会会場のサポート		
主 催	飯坂温泉観光協会 ほろ酔いウォーク実行委員会		

5. 地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者と事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

※令和元年度の取組はありませんでした

6. その他、第3条の目的をみたすために必要な事業

(1) インターン受入 (公募型受託事業)

活動名	チャレンジインターンシップ	受入学生	大学生	1 名
実施期間	令和 元 年 7 月 21 日 ~ 令和 元 年 8 月 19 日	活動日数	9 日	
場 所	飯坂町	会 場	摺上川ダム、茂庭広瀬公園、飯坂復興公営団地	
内 容	冒険あそび場や飯坂復興公営団地でのサロン活動、カヤックツアーでのサポート			
収 益	福島県			
運営受託	特非) ふくしまNPOネットワークセンター/ふくしま地域活動団体サポートセンター			

<その他の事業 (収益事業) >

(1) 着地型観光プログラム販売事業

「2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業」の(1)にあるように、プログラムの試験的な実施を行いました
(本格的な販売には至りませんでした)

(2) 地元住民や観光客の交流を育むコミュニティ空間形成等の事業

活動名	オンカフェ運営事業		
実施日	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日	営業日数	299 日
場 所	福島市飯坂町湯沢26番地 鱒湖湯前		
内 容	茂庭っ湖ダムカレー等、地域資源をPRする飲食メニューの提供		
収 益	販売収益		

◇添付資料

加盟団体一覧（順不同）

・ 飯坂温泉観光協会	https://iizaka.com/
・ 飯坂町商工会	https://www.iizakamachi.com/
・ 飯坂町史跡保存会	
・ 湯沢町内会	
・ 湯沢商店会	
・ （一社）福島市観光コンベンション協会	https://www.f-kankou.jp/
・ 子どもが自然と遊ぶ楽校ネット	https://www.kodomo-gakkounet.com/ 未来の担い手である福島県内在住の子どもたちが自ら考え「生き抜く力」を高めることを目的に、県内で自然体験活動を行っている8団体で構成されたネットワーク組織
・ （特非）福島市レクリエーション協会	http://www.f-rec.net/ レクリエーションの総合的な普及振興を図り、福島市民の福祉向上と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として市内16団体で構成されたネットワーク組織
・ （特非）日本冒険遊び場づくり協会	http://bouken-asobiba.org/ 「遊び あふれる まちへ！」の合言葉で、冒険遊び場づくりを通して地域で子どもたちが自由に遊び育つ豊かな社会の実現をめざして全国展開しているネットワーク組織
・ （特非）福島SAND-STORY	https://www.fukushima-sand-story.com/ 子どもたちの健康な成長発達を、砂の遊びとアートの力を通して実現させ、豊かな子育て・子育て環境になる町づくり・地域づくりを目指している団体